

<http://lacorolle.cocolog-nifty.com/blog/2010/11/post-b8a0.html>

東京都現代美術館

先日、東京都現代美術館に行ってきました。

10月29日～2011年1月31日まで開かれている、

「MOTコレクション」と「オランダのアート&デザイン新言語」と

「東京アートミーティング トランスフォーメーション」

の3つを見てきました。

いつも数時間かけて一つの展覧会を周る人間なので、

今回は早々と進んでいたつもりなのですが、

それでもすべて終わった頃には日が沈んでいました。

またまた時の流れに驚かされた瞬間です。

トランスフォーメーションの方は映像作品が多くあったのですが、

見せ方というのもまた工夫されていて、

空間と共に映像があるという形で楽しめました。

MOTコレクションは東京都現代美術館の常設展示です。

日本の異端作家と呼ばれる方々の作品も数多く紹介されています。

そして、MOTコレクションの中にレベッカホルンの作品が。

昨年に開かれたレベッカホルン展に行ってたので、2度目の再会となります。

オランダのアート&デザイン新言語は参加型の作品などがあり、

美術にそれほど詳しくない人でも楽しめるものが多いです。

受付の所で、小さなブロックを渡されるんです。

私はブロックにしらたまくんを描いて参加しました。

どうなっているのかは入ってからのお楽しみですね。

美術館を出た後に、写真撮影が可能な場所があったと知って、

惜しい気持ちにもなりましたが、それよりも、

この数時間で様々な作品に触れて、

刺激を受け、感動した気持ちの方が上回っていました。



帰り際、ミュージアムショップで

オランダの展覧会にあった作品(?)のお土産を買ってきました。

涙をふくためのハンカチ・・・だそうです。